（5）基本目標５　暮らしと環境が支え合うコンパクトで持続可能なまち

環

・コンパクト化による暮らしやすい都市構造、にぎわいが感じられる拠点の形成とともに、資源が循環する仕組みによる持続可能なまちづくりを進めます。
・人口減少を前提としたコンパクトな都市構造の形成を進め、生活に必要な機能の集約した暮らしやすい環境を整えます。
・環境負荷の低減や資源の循環を取り入れながら、暮らしと環境が支え合う持続可能なまちづくりを進めます。

＜重点プロジェクト　人が集い、にぎわう環境のある都市空間プロジェクト＞

人口減少により、市街地の低密度化や空洞化が進み、まちなかのにぎわいや都市機能の維持が課題となっています。そのため、にぎわいの創出と都市機能の集約を進め、持続可能な都市構造への転換と、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを図る必要があります。

**①　町民が関わるにぎわいの場をつくる**

中心市街地の空洞化やにぎわいの低下を踏まえ、まちなかや公共空間を活用し、町民や事業者に加え町外からの来訪者も含め、世代を超えて主体的に関わるイベントや日常的な活動を通じて、人が集い、交流が生まれる場づくりを進めます。

[プロジェクトを推進していくための施策]

| 施策の区分 | | | 施策の内容 |
|---|---|---|---|
| 5-1<br>道路網 | (2)町道の整備 | ③賑わい道路など特色ある町道の整備推進【建設課・都市整備 G】 | 賑わい道路など特色のある町道の整備については、官民連携制度の活用などを視野に入れ、関係団体と連携して、事業化への検討、持続的な地域のエリアマネジメント活動の推進を図ります。 |
| 5-2<br>市街地機能 | (1)コンパクトなまちづくり計画の推進 | ①計画の進捗状況の確認、効果検証【建設課・都市整備 G】 | 将来のまちのあるべき規模をイメージした都市機能・居住誘導区域を設定し、災害に強く、生活利便性と生活サービス機能が持続可能な市街地形成を推進します。誘導区域内での住宅需要を踏まえ、住宅・店舗リフォーム制度や空き家対策など既存施策との連携に加え、民間事業者との連携により、建替えや利活用が進みやすい環境づくりを推進し、同じ目的を共有しながら官民連携による一体感のある取組を進めます。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5-2<br>市街地機能 | (2)市街地における土地利用の推進 | ①都市計画区域における土地利用の見直しの検討【建設課・都市整備G】 | 将来の人口減少や空き家問題などを見据えた、美幌町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、土地の利用実態などを踏まえて、適宜、都市計画変更を行います。また、今後のまちづくりに必要な都市機能の集約や、地域経済の活性化に向けた企業の立地動向、コンパクト化を進める中で将来の土地利用実態に変化が見込まれる箇所については、周辺環境との調和に留意しながら用途変更の見直しを検討し、無秩序な開発行為の防止に努めます。 |
| | (3)公園や緑地の整備、維持管理 | ①公園施設の計画的な更新【環境管理課・維持管理G】 | 公園利用者の安全を確保するため、日常点検や遊具点検の結果を踏まえ、危険度の高い施設から優先的に更新・修繕・撤去を進めます。また、公園遊具を整備する際には、教育委員会等と連携して、子供達へのニーズを踏まえた上で遊具の選定を検討します。 |
| | (4)中心市街地の緑地整備 | ポケットパークの整備【環境管理課・維持管理G】 | 中心市街地において、多目的広場やポケットパークなど緑と調和した施設整備を進め、憩いと交流の場を創出するとともに、快適で歩きたくなる市街地環境の形成を図ります。 |

### ② 民間活力を活かした空間活用を進める

空き家、空き店舗など未利用地の増加に対応し、リノベーション、起業、飲食及び地域活動などの新たな挑戦の場及び新たな空間活用手法を取り入れるとともに、官民連携やエリアマネジメントの視点を取り入れながら、持続的に活用される仕組みを構築し、民間活力も活かして都市機能の集約を図ります。

[プロジェクトを推進していくための施策]

| 施策の区分 | | | 施策の内容 |
|---|---|---|---|
| 5-1<br>道路網 | (2)町道の整備 | ③賑わい道路など特色ある町道の整備推進【建設課・都市整備 G】 | 賑わい道路など特色のある町道の整備については、官民連携制度の活用などを視野に入れ、関係団体と連携して、事業化への検討、持続的な地域のエリアマネジメント活動の推進を図ります。 |
| 5-2<br>市街地機能 | (1)コンパクトなまちづくり計画の推進 | ①計画の進捗状況の確認、効果検証【建設課・都市整備 G】 | 将来のまちのあるべき規模をイメージした都市機能・居住誘導区域を設定し、災害に強く、生活利便性と生活サービス機能が持続可能な市街地形成を推進します。誘導区域内での住宅需要を踏まえ、住宅・店舗リフォーム制度や空き家対策など既存施策との連携に加え、民間事業者との連携により、建替えや利活用が進みやすい環境づくりを推進し、同じ目的を共有しながら官民連携による一体感のある取組を進めます。 |
| | (2)市街地における土地利用の推進 | ①都市計画区域における土地利用の見直しの検討【建設課・都市整備 G】 | 将来の人口減少や空き家問題などを見据えた、美幌町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、土地の利用実態などを踏まえて、適宜、都市計画変更を行います。また、今後のまちづくりに必要な都市機能の集約や、地域経済の活性化に向けた企業の立地動向、コンパクト化を進める中で将来の土地利用実態に変化が見込まれる箇所については、周辺環境との調和に留意しながら用途変更の見直しを検討し、無秩序な開発行為の防止に努めます。 |
| 5-3<br>住宅環境 | (3)空き家対策 | ①空家等に関する施策の総合的かつ計画的な実施【政策推進課・政策統計 G】 | 第２次美幌町空家等対策計画」に基づき、「理解・促進」「利活用」「適正管理」の３つの基本方針に掲げた具体的な取組を、地域住民や関係団体、民間事業者等と連携し、空家対策に取り組みます。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5-4<br>生活環境･緑化活動 | (5)花や緑による景観の向上及び緑化の推進 | ②緑の保全､回復及び緑化推進の取り組み【環境管理課･環境衛生 G】 | 関係部署との連携による市街地の空き地空間を利用した緑化の推進及び整備を図ります。 |

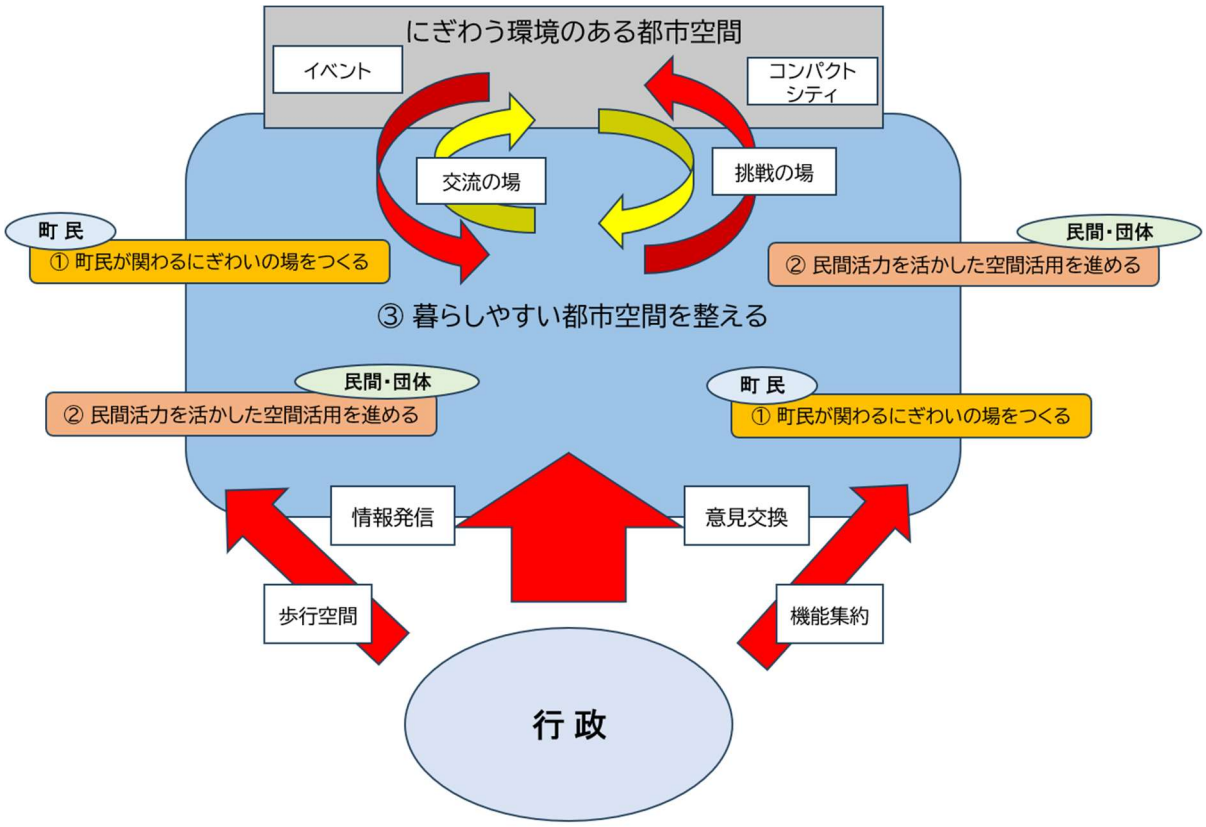
### ③　暮らしやすい都市空間を整える

人口の変化に合わせたコンパクトなまちづくりを進め、生活に必要な機能の集約や歩行空間の充実を図り、災害リスクが低く誰もが安心して利用できる都市空間を整備します。

[プロジェクトを推進していくための施策]

| 施策の区分 | | | 施策の内容 |
|---|---|---|---|
| 5-2<br>市街地機能 | (1)コンパクトなまちづくり計画の推進 | ①計画の進捗状況の確認、効果検証【建設課・都市整備G】 | 将来のまちのあるべき規模をイメージした都市機能・居住誘導区域を設定し、災害に強く、生活利便性と生活サービス機能が持続可能な市街地形成を推進します。誘導区域内での住宅需要を踏まえ、住宅・店舗リフォーム制度や空き家対策など既存施策との連携に加え、民間事業者との連携により、建替えや利活用が進みやすい環境づくりを推進し、同じ目的を共有しながら官民連携による一体感のある取組を進めます。 |
| | (2)市街地における土地利用の推進 | ①都市計画区域における土地利用の見直しの検討【建設課・都市整備G】 | 将来の人口減少や空き家問題などを見据えた、美幌町都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に基づき、土地の利用実態などを踏まえて、適宜、都市計画変更を行います。また、今後のまちづくりに必要な都市機能の集約や、地域経済の活性化に向けた企業の立地動向、コンパクト化を進める中で将来の土地利用実態に変化が見込まれる箇所については、周辺環境との調和に留意しながら用途変更の見直しを検討し、無秩序な開発行為の防止に努めます。 |
| | (4)中心市街地の緑地整備 | ポケットパークの整備【環境管理課･維持管理G】 | 中心市街地において、多目的広場やポケットパークなど緑と調和した施設整備を進め、憩いと交流の場を創出するとともに、快適で歩きたくなる市街地環境の形成を図ります。 |

[イメージ図]


にぎわう環境のある都市空間
イベント
コンパクト
シティ
交流の場
挑戦の場
町 民
① 町民が関わるにぎわいの場をつくる
民間・団体
② 民間活力を活かした空間活用を進める
③ 暮らしやすい都市空間を整える
民間・団体
② 民間活力を活かした空間活用を進める
町 民
① 町民が関わるにぎわいの場をつくる
情報発信
意見交換
歩行空間
機能集約
行 政